AM1-000424-001　第 1 版
2006 年 9 月
NEC アクセステクニカ株式会社

Aterm WR7600H
新 5.2GHz 帯(W52)対応への書き換え方法について

Aterm WR7600HでIEEE802.11aの新5.2GHz帯（W52）をご利用いただくためには、WR7600Hの拡張カードスロットに装着した無線LANカード（WL54AG）※を新5.2GHz帯(W52)対応に書き換える必要があります。本書では、その書き換え方法について説明します。

※無線LANカード（WL54AG）についての補足説明を、本書の最終ページ（→p.5）に記載していますので、ご参照ください。

書き換えの前に必ずお読みください

**WR7600Hを802.11aモードで使用する場合は、
無線LAN端末（子機）が新5.2GHz帯(W52)に対応していることを確認してください。**

**◆新5.2GHz帯(W52)に対応していない無線LAN端末（子機）を使用する場合は、
本書での書き換えは行わないでください。**

→WR7600Hを新5.2GHz帯(W52)対応にすると、旧5.2GHz帯(J52)での無線LAN端末（子機）との接続ができなくなってしまいます。
WR7600H内の無線LANカード（WL54AG）は、いったん新5.2GHz帯(W52)へ書き換えると、旧5.2GHz帯(J52)へ戻すことはできませんので、ご注意ください。

◆無線LAN端末（子機）がWL54AG/WL54AG(S)/WL54AG-SD/WL54TU/WL54TEの場合は、ホームページAtermStationのバージョンアップコーナーを参照して、無線LAN端末（子機）を新5.2GHz帯(W52)対応にしておいてください。

1.　新 5.2GHz 帯（W52)対応への書き換え

≪書き換え前の準備≫

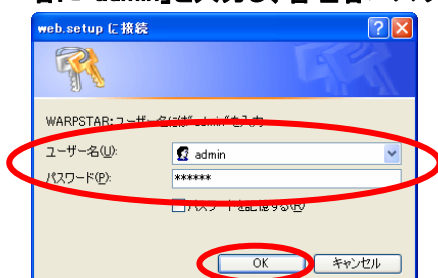
●あらかじめ、ホームページ AtermStation にて発行される「新 5.2GHz 帯への書き換え用パスワード」を入手しておいてください。なお、パスワードは忘れないよう書き留めておいてください。

●ファームウェアとユーティリティが最新にバージョンアップされていることを確認してください。
→最新にバージョンアップされていない場合は、ホームページ AtermStation のバージョンアップコーナーに記載の「バージョンアップ方法」を参照して、最新のファームウェアとユーティリティにバージョンアップしてください。
（ただし、無線LAN端末（子機）がAterm以外の場合にはユーティリティのバージョンアップは不要です。）

●WR7600H の拡張カードスロットに、WL54AG が装着されていることを確認してください。
→WR7600H に装着できる無線 LAN カードは、WL54AG のみです。

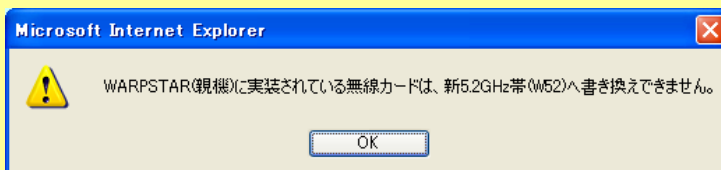
WR7600H 内の無線 LAN カード（WL54AG）を新 5.2GHz 帯(W52)対応に書き換えます。

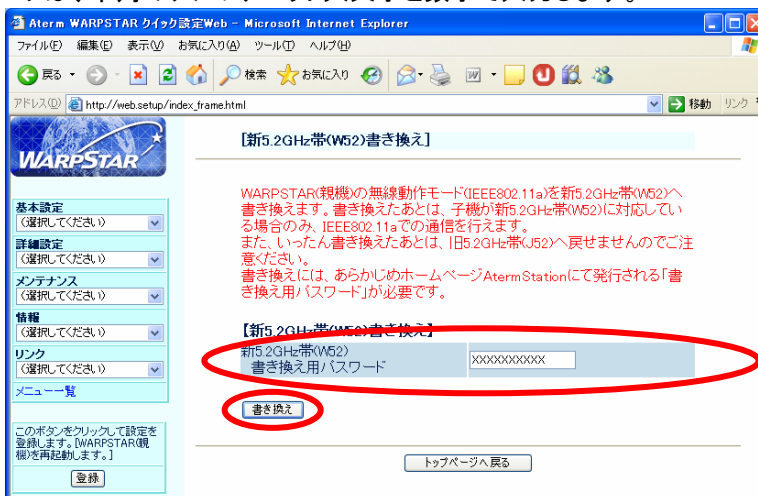
1.　**WWW ブラウザ（Internet Explorer など）を起動し、アドレスに「http://web.setup/」と入力して、クイック設定 Web を起動します。**
※クイック設定 Web が起動しない場合は、取扱説明書の「トラブルシューティング」を参照してください。

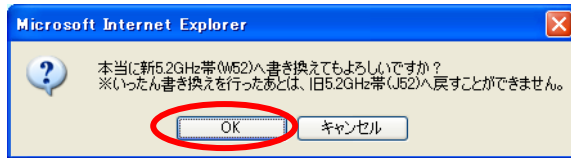
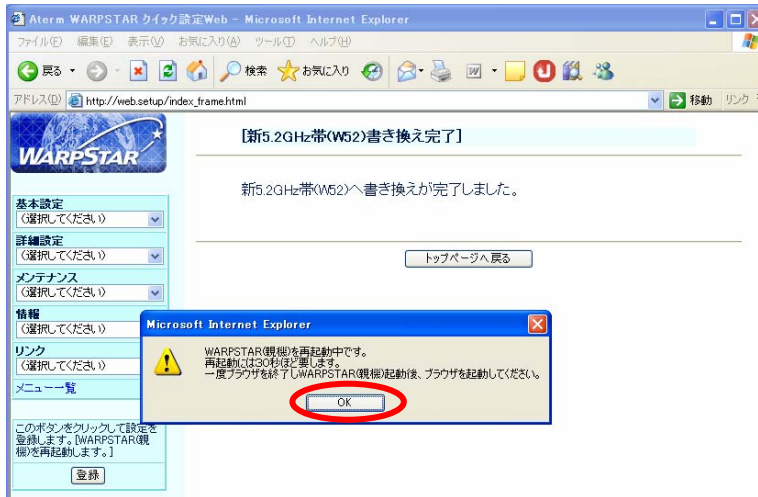
2.　**ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力して、[OK]をクリックします。**

（次ページに続く）

3. ［メンテナンス］の をクリックし、［新 5.2GHz 帯（W52)書き換え］を選択します。

※下記の画面が表示された場合は、WR7600H の拡張カードスロットに、無線 LAN カードが装着されていないか、WL54AG 以外の無線 LAN カードが装着されています。（WR7600H に装着できる無線 LAN カードは WL54AG のみです。）［OK］をクリックして WWW ブラウザを終了してください。

新 5.2GHz 帯(W52)対応への書き換えを行うには、WL54AG をご用意いただき、必ず WR7600H の電源を切った状態で WR7600H の拡張カードスロットへ装着してください。装着後、WR7600H の電源を入れ、手順１から設定し直してください。

4. ［新 5.2GHz 帯（W52)書き換え用パスワード］に、あらかじめ新 5.2GHz 帯（W52)書き換え用に発行されたパスワードを入力し、［書き換え］をクリックします。

※パスワードは、半角のアルファベット大文字と数字で入力します。

（次ページに続く）

5. [OK]をクリックします。

6. [OK]をクリックします。

7. ❎ をクリックして、WWW ブラウザを終了します。

以上で新 5.2GHz 帯(W52)対応への書き換えは完了です。

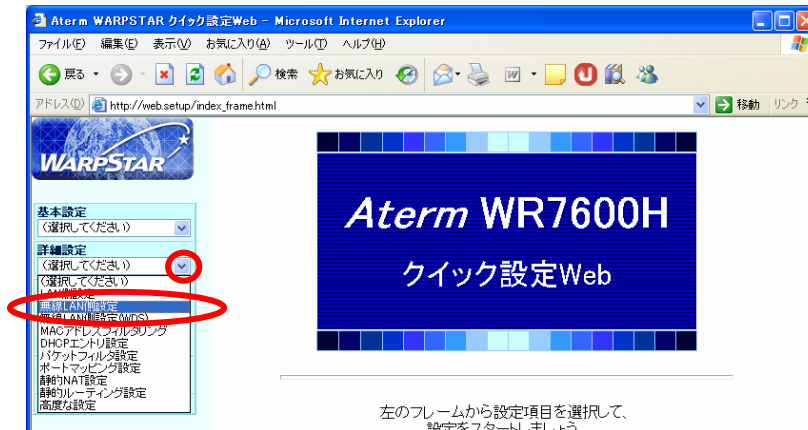
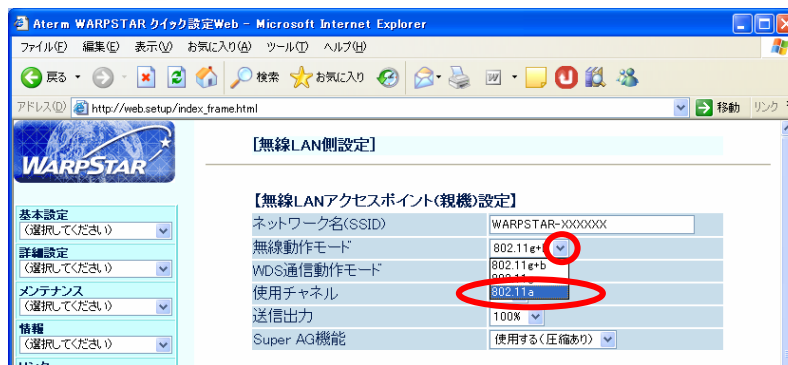
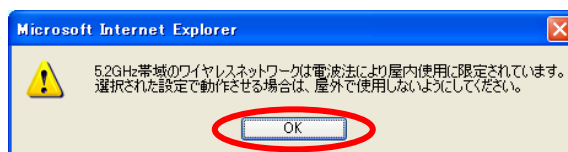
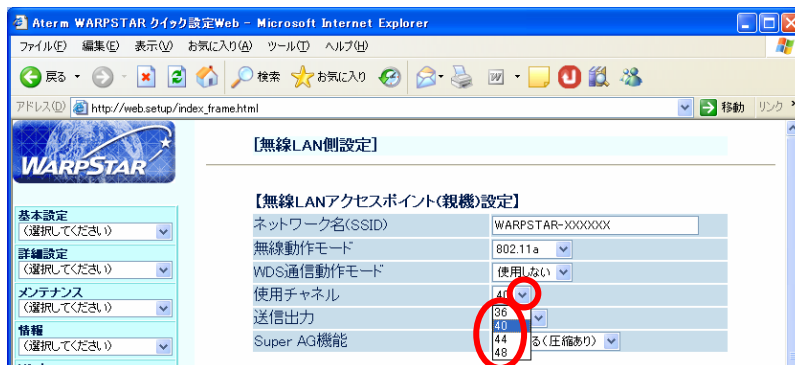
(次ページにて、書き換えの確認を行ってください。)

(次ページに続く)

2. 書き換えの確認

WR7600H 内の無線 LAN カード(WL54AG)が新 5.2GHz 帯(W52)対応に書き換えられていることを、クイック設定 Web の表示で確認します。

1. **クイック設定 Web を起動します。**
   ※クイック設定 Web の起動のしかたは、「1. 新 5.2GHz 帯(W52)対応への書き換え」の手順 1, 2(→p1)を参照してください。

2. **[詳細設定]の をクリックし、[無線 LAN 側設定]を選択します。**

3. **[無線動作モード]の をクリックし、「802.11a」を選択します。**

4. **[OK]をクリックします。**

5. **[使用チャネル]の をクリックし、選択肢が「36/40/44/48」と表示されていれば、新 5.2GHz 帯(W52)対応に書き換えられています。**

6. **をクリックして、WWW ブラウザを終了します。**

以上で新 5.2GHz 帯(W52)対応への書き換えの確認は終了です。

(次ページに続く)

<WR7600Hに関する補足説明>

● WR7600Hは、装着する無線LANカード（WL54AG）を、新5.2GHz帯（W52）対応へ書き換えていない商品（旧5.2GHz帯（J52）対応品）に交換することで、旧5.2GHz帯(J52)対応の状態に戻すことができます。
この場合、WR7600Hのファームウェアおよびユーティリティは、以前のバージョンに戻さなくても動作しますが、SuperAG（圧縮あり）のスループットが若干低下しますので、以前のバージョンに戻すことを推奨します。
なお、交換品（新5.2GHz帯（W52）対応へ書き換えていない旧5.2GHz帯(J52) 対応のWL54AG）は別途ご用意ください。

<無線LANカード(WL54AG)に関する補足説明>

● 無線LANカード（WL54AG）は、書き換えることにより新5.2GHz帯(W52)に対応可能となります。
無線LANカード（WL54AG）の書き換え方法には、WR7600Hに装着して本書の手順で書き換える方法と、パソコンに装着して「新5.2GHz帯(W52)対応ユーティリティ」を使用して書き換える方法があります。
いずれの方法で書き換えた場合も、無線LANカード（WL54AG）は同じ内容に書き換えられます。
なお、いったん新5.2GHz帯(W52)対応へ書き換えると、旧5.2GHz帯(J52)へ戻すことはできませんので、ご注意ください。

● 新5.2GHz帯(W52)に書き換えた無線LANカード（WL54AG）は、使用方法によって、対応可能な5.2GHz周波数帯のチャネルが異なりますので、ご注意ください。

【無線LANアクセスポイント（親機）に装着して使用する場合】

新5.2GHz帯（W52）のみの対応となります。
WR7600Hのファームウェアおよびユーティリティを最新にバージョンアップして使用してください。
ただし、無線LAN端末（子機）がAterm以外の場合にはユーティリティのバージョンアップは不要です。

【無線LAN端末（子機）として使用する場合】

旧5.2GHz帯（J52）／新5.2GHz帯（W52）対応となります。
パソコンに最新のユーティリティをインストールして使用してください。